

回覧

小塩江地区



地域学校保健委員会だより

令和8年7月6日
須賀川市立
小塩江小・中学校



～小塩江地区で連携し継続して取り組む 歯と口の健康づくり～

令和8年6月17日(水)に第1回小塩江地区地域学校保健委員会を開催しました。ご多忙の中、学校歯科医、地区担当保健師、PTA 役員のみなさまにもご参加いただき、小塩江地区の子どもたちが抱える健康課題解決に向けて、今年度、学校や家庭でどのような取り組みをしていったらよいか等について有意義な話し合いができました。指導助言や当日話し合われた内容などについて、以下にご紹介させていただきます。

学校歯科医 國分先生より



小塩江地区の子どもたちの歯は、キレイな子はずっとキレイ、むし歯の子はずっとむし歯の状態です。むし歯の保有率を下げるためには、受診に対するハードルを下げることも必要で、近隣の歯科医リストやマップを作成して保護者に提供してはどうでしょうか。

また、学校では予防教育をこれからも継続していくとともに、仕上げみがきやおやつの食べ方など家庭で出来ることをスモールステップで進めていくことが大切です。

昨年度の地域学校保健委員会では、「永久歯が完全に生え変わるまでが仕上げみがきの目安です」と國分先生からありました。

小塩江地区担当保健師 阿部様より

小学生から歯肉に異常があり、そのまま放置すると大人になってから歯肉から血が出る場合があります。歯だけでなく、歯肉もブラッシングすることが大切です。

むし歯の保有率について、須賀川市は全国よりかなり多い状態です。6歳児のむし歯保有が多く、すでに永久歯のむし歯もある状態です。甘い飲み物はむし歯の保有にもつながります。おやつを食べたら、甘い飲み物ではなくお茶等にすることも大切です。市では、乳幼児健診の際に市販の歯磨き粉のフッ素量についてアドバイスも行っています。子どもだけでなく、大人に対しても歯科衛生士による健康相談・健康教育を実施しています。

幼児期の肥満は生活習慣病につながりやすいので注意が必要です。

参加者＜アドバイザー＞学校歯科医 國分直樹様、須賀川市保健師 阿部悠希様
＜小学校役員＞PTA 庶務 横田様
＜中学校役員＞PTA 会長 吉田様、PTA 副会長 山河様
＜小中学校教員＞校長、教頭、体育主任、保健主事、養護教諭

協議

◇ 議題 ◇

歯科検診結果やアンケート結果から見えてきた、子どもたちの健康課題について
・口腔の健康に関して家庭でできること
・おやつの食べ方やマナー等について感じたこと

(1班)

- 定期的に家庭連絡をしても治療率がなかなか上がらないため、今年は校長から個別に家庭に通院を促す予定。
- 給食後の歯みがきも指導が必要。
- 自分の歯を鏡で見るなどして、チェックすることも必要ではないか。
- 食べたらハミガキをする習慣づけが必要である。

(2班)

- 治療に連れて行こうとしても、小塩江地区に歯科医院がなく、歯医者は予約が取りにくい。
- 家庭でも時々、染め出しを実施するのも効果があるのではないか。
- 将来を考えることをこれからの教育で進めるのも大切ではないか。
- 保護者にハブラシなどの道具の声かけも大切だと思う。

(3班)

- 夏休み中に両親が治療に連れていくことが難しい時は、祖父母の手をかりてすめたり、会社が終わった後の時間まで診察してくれる歯医者で治療をすすめたりできると良いのではないか。
- 学校で取り組みをしていることを家庭内でも興味を持ってもらいたい。
- おやつはタイミングと量を見極め、食事の妨げにならないようにするのが大事。
- マナーは食事の時に、アドバイスという形で声掛けをしてあげると良いのかも。

最後に・・・

小塩江地区の健康課題である「歯・口腔内の健康」について、今年度も保護者の方々に協力いただきながら小・中学校で様々な取り組みを行っているところです。協議の中で『**保護者の方だけでなく同居する祖父母の方にもおやつや飲み物のあげ方を協力してもらい必要がある**』と出ました。「一生使う大事な歯」だからこそ、今から将来を見据えて学校と家庭と地域が協力しながら小塩江地区の子どもたちの健康を守っていかれたらと思います。今後とも、ご協力よろしくお願いいたします。

早めの受診をお願いします！！

小学校：4人 中学校：5人

むし歯は自然には治りません。放置するとどんどん悪化します。歯肉炎や歯列も歯科医にみてもらい、専門的な指導を受けることが大切です。早めの歯科医受診をお願いします。歯科医リストを作成しますので、治療を始める際の参考にしていただけたらと思います。



むし歯未受診者数
(R8.6.30現在)